

2020年9月14日

甲府市議会決算特別委員会の総括質問

こうふクラブ 山田 厚

1. 甲府市の財政健全度はいかがか

甲府市は、中核市となり、また開府500年事業など様々な事務事業が増加していますが、財政上の健全度はどうでしょうか？

以下の財政傾向を簡潔にお伺いするとともに、総括的な見解をおききします。

- ・消費税10%への増税にともなう市財政の影響について
一般・企業・特別会計別の影響額をそれぞれお聞かせください
- ・地方債・臨時財政対策債の現状、経常収支比率・将来負担比率の傾向は？
- ・財政調整基金積立残高は？
- ・企業会計への総務省基準に基づく操出金の対応はどうか？

2. 市民生活の認識と生活困窮者などへの取り組みは

私たちは、全国及び甲府市の市民生活は、極めて厳しい状態になっていると考えています。最近の生活及び消費経済や雇用に関する調査ではどうでしょうか。しかも、消費税増税が行われました。そしてコロナ感染症です。

そこで、令和元年度との比較で判断できる傾向とそれに対する基本的にな認識を簡潔にお教えてください。

- ・甲府市民の所得の傾向
- ・甲府市の雇用に占める非正規雇用数やフリーランスの状態など把握されているか？
- ・甲府市〔山梨〕の企業の倒産・転廃業の状況と傾向はどうか？
- ・甲府市はどのように生活困窮家庭への対応をいかにされてきたのか？伺います。

3. 「自助」「共助」の強調について、市の公的 effort について

今、日本社会は、国からの指導で「自己責任」の強調と「自助・共助・公助」が強調されています。しかし、少子高齢化が進み、どこの地域でも「共助」の力も落ちていきます。

それは、若い家庭はゆとりの無い仕事づけであり、高齢者は多くなっても、生活のために仕事をし続ける人、介護や医療を必要とする人が多くなり「自助」も難しくなっています。自治会などの地域活動の役員のなり手がいなくなり、自治会の未加入世帯も多くなる傾向があります。

甲府市の自治会の傾向と、また自治会が担ってきた活動の今後が心配です。今後について甲府市としての取組みも含めてお聞きします。

- ・ 共助の中心である甲府市の自治会加入率の低下傾向のなかで、自治会未加入者への対応は？
- ・ 具体的な事例として自治会がない地域もあり、広報の配布や地域の防犯街路灯の維持管理はどうされるのか？

4. 甲府市民と市職員のいのちと健康確保において

コロナ感染症の不安から医療の受診抑制や介護の利用抑制が強められています。この傾向は、以前からはじまっていますから、コロナの対策も含めて市民の健康・疾病予防は重要な課題です。

また市民へのいい仕事をつづけるためにも、市職員の健康は大切です。うかがいます。

- ・ この間、国の政策で保険料や患者負担に様々に高齢者の負担が重くなっていますが、甲府市の、高齢者の疾病予防 健康確保への努力は？
- ・ 甲府市の市民の健康におけるサポートは？ 全国及び県内と比較した死因別では、「老衰」「肺炎」「自殺」が、甲府市では多いが、このことに対するご認識は？
- ・ 市職員の正規非正規職員の働き方とゆとりに向けての取組みは？
- ・ 令和元年度からはじまったコロナ感染症における医療や防疫における初動の取組みはいかかですか。